

どうする？どうなる？ これからの森づくり

～森と人との関わりを語り合う場を求めて～

日時
場所

6月2日（日） 13：00～16：30
文京シビックセンター26階スカイホール

基調
講演



内山節（哲学者、森づくりフォーラム代表理事）

哲学者。立教大学教授。1970 年代から現在でも、東京と群馬県上野村との往復生活を続けている。上野村では畑を耕し、森を歩きながら暮らしている。主な著書に『内山節のローカリズム原論—新しい共同体をデザインする』農文協 等。

パネル
ディス
カッション

◇鹿住貴之

（認定 NPO 法人樹恩ネットワーク事務局長，東京都）

◇浜田久美子

（作家，長野県）

◇林業女子会 @ 東京

◇山本博

（NPO 法人日本森林ボランティア協会 事務局長，大阪府）

<参加案内>

【定 員】定員100名（事前申込みによる先着順）

【参加費】一般：500円

森づくりフォーラム会員：無料

【申込書】裏面の申込書をご利用ください。

【問い合わせ】森づくりフォーラム事務局

東京都文京区本郷2-25-14 第一ライトビル405号室

TEL：03-3868-9535

FAX：03-3868-9536

Email：office@moridukuri.jp

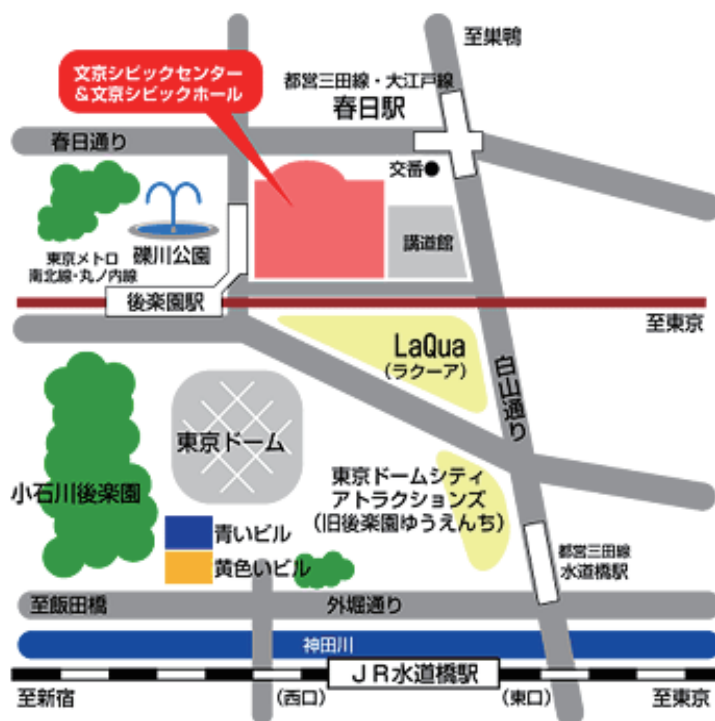
HP：http://www.moridukuri.jp

【主催】森づくり政策市民研究会

【共催】特定非営利活動法人森づくりフォーラム

※なお、当シンポジウムは、国土緑化推進機構「森と水の森林ファンド」助成事業で開催されています。

<会場までのアクセス>



◇シンポジウム開催にあたって

神戸での震災が NPO 法のきっかけとなり、2011 年の東日本大震災がボランティア活動の次の転換期になろうとしています。これまでの森林ボランティア活動の歴史を振り返りつつ、今後の市民による森づくり活動はどのような方向に向かうべきかを、模索します。

また森林ボランティアだけでなく、今まで森林に関わりのなかった市民の森への興味・関心を掘り下げ、人と森林のつながりがいかに大切かを、継続して語りあっていくキッカケづくりにします。なお、このシンポジウムは 2014 年 3 月 21 日、22 日に開催予定の「森林と市民を結ぶ全国の集い in 東京」に繋げていきます。

■シンポジウム司会進行 中沢和彦（森づくりフォーラム）

■パネリスト紹介

◇鹿住貴之（かすみたかゆき）

1998 年大学生協の呼びかけで設立された、都市と農山漁村を結ぶ NPO 法人 JUON(樹恩) NETWORK に事務局スタッフとして参画。99 年 3 月より事務局長。その他、NPO 法人日本 NPO センター理事、NPO 法人森づくりフォーラム理事等様々な市民活動に携わっている。著書に『割り箸が地域と地球を救う』（創森社・共著）等。

◇浜田久美子（はまだくみこ）

精神科のカウンセラーを経て、木の力に触れたことから森林をテーマにした著述家となる。森林や木と自分達の暮らしがつながることで人にとっては安定、森には安泰をもたらす、との視点で活動。著述や講演などを通じ森と木の効果を伝え、家事としての山仕事を続ける。著書に『森の力ー育む、癒す、地域をつくる』（岩波新書）等。

◇山本博（やまもとひろし）

林業会社勤務を経て、1996 年に森林インストラクター・林業技士の資格を取得。翌年「日本森林ボランティア協会」を設立。2000 年法人格を取得、同団体では全体の管理と共に、指導者養成の市民講座「森林大学」で林業に関する講座と間伐実習を担当している。他にも行政主催の森林ボランティア養成講座などでの指導経験が豊富。

◇林業女子会@東京

林業女子会@東京は、全国に 8 つある林業女子会の東京版。なかでも@東京は森づくり活動を団体の礎としている。都内で開く定例会、SNS での発信などを通し、東京に暮らす多くの人に対して、森や木を身近にすることを目指す任意団体である。

(FAX: 03-3868-9536 森づくりフォーラム宛)

【シンポジウム】 どうする？ どうなる？ これからの森づくり ～森林と人との関わりを語り合う場を求めて～
＜参加申込書＞

ふりがな	TEL
氏 名	Eメール
所 属	懇親会 (17:00 ～会費 3000 円程度) 参加 ・ 不参加
会 員	個人会員 団体会員 非会員

コメント (あれば)

※上記のことが記されていれば、Eメール (office@moridukuri.jp 宛) でも参加申込みできます。